



文責 本宮小校長 佐久間仁

## 修了式

昨日、修了式を行いました。式では、修了者三百六十四名を代表して五年生に修了証書を手渡ししました。修了式では、三学期を振り返り、次のような話をしました。

「皆さんが元気に学校に通うことができたのは、皆さんの頑張りがもちろんですが、家族の皆さんの励ましや地域の皆様の見守りがあったおかげです。自分を支えて下さる方への感謝の気持ちを忘れず、今後も健康に気を付けて、元気に生活して下さい。(中略)

三学期の学習・運動面においては、苦手なことにも進んで取り組む等、色々なことに挑戦してきました。学力テストでは国語や算数等の問題に粘り強く取り組み、考える力を伸ばしました。スキー教室やなわとび記録会に積極的に参



おめでとう

加する等、体力づくりもがんばりました。何事にも目標をもちチャレンジすることは、素晴らしいことです。今後も、様々なことに挑戦して自分の力を高めて下さい。」

※本日、修了証書とともに通知票を渡しました。子どもたちが自信をもって次の学年に進むことができるよう、これまでの頑張りをほめ励ましてください。保護者の皆様のご支援に感謝いたします。

## 卒業証書授与式



本日、卒業証書授与式を行いました。卒業生六十五名に卒業証書を手渡ししました。卒業生へのはなむけに次のような話をしました。

「今年度は『夢と希望をはぐくむ学校へ感謝と感動』を合言葉に『自分を支えて下さる方々に感謝するとともに、大きな夢や希望をもち、最後まであきらめずに努力すること』を一人一人が心がけてきました。あいさつ運動や清掃・ゴミ拾い、小さな親切等、六年生

が先頭に立って進めてきた活動が、今では本宮小のよき伝統になりました。つあります。百五十年の歴史に新たな一ページを刻んだ皆さんの頑張りに心から拍手を送ります。

ところで、詩人宮澤章二さんは、次のような詩を書き記しました。

『行為の意味』 宮澤章二

あなたの『こころ』はどんな形ですかと ひとに聞かれても 答えようがない 自分にも他人にも『こころ』は見えない けれどほんとうに見えないのであろうか 確かに『こころ』はだれにも見えない けれど『こころづかい』は見えるのだ それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の『思い』は見えない けれど『思いやり』はだれにでも見える それも 人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり やさしい思いが やさしい行為となるとき 『心』も『思い』も 初めて美しく生きる それは 人が人として生きることだ

今年一月に起きた能登半島地震では多くの尊い命が失われました。世界では、災害や戦争等によって多くの人が家を失い、大切な人と離れ離れになっています。大変な

悲しみを抱え、厳しい環境で避難生活を強いられている多くの方々に、今、改めて思いを寄せることが大切だと考えます。

この詩を読むとき、そうした方々への思いを一人ひとりが行動に表していくことが大切なのだと感じさせられます。皆さんには自分を支えて下さる方の温かい励ましをいただきながら無事に六年間を過ごすことができました喜びをかみしめてほしいと思います。

そして小学校で経験したことを糧として、今度は自分が人の役に立つこと、人に喜んでもらうことができる人になってほしいと思います。(以下略)

※六十五名の卒業生の今後の成長と益々の活躍をお祈りします。

## 明日から春休み



明日から四月七日まで十六日間の春休みとなります。春休み中も、規則正しい生活をする事、感染症予防に努めること、交通ルールやマナーを守って安全に過ごすことを指導しました。ご家族の皆様の見守りと声かけをお願いします。

【御礼】一年間、学校便りをお読みいただきありがとうございました。